



営業トラックの交通事故発生状況 令和7年中

1 発生状況

令和7年中の営業トラック（事業用貨物自動車）が第1当事者となった人身交通事故は、前年と比較して発生件数は減少し、負傷者数は前年同数でした。

また、死亡事故は4件4人発生し、前年比で-1件-1人と減少しました。

【営業トラックの交通事故発生状況】

(令和7年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	117	4	4	14	134	148
前年	119	5	5	12	136	148
増減	-2	-1	-1	2	-2	0
率	-1.7	-20.0	-20.0	16.7	-1.5	0.0

【営業トラックの交通死亡事故発生状況】

(令和7年中)

No.	発生年月日等								第1当事者(営トラ)		死者			
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	事故類型	高齢者	車種	状態	高齢者
1	7	5	16	11	金	昼	晴	仙台市宮城野区岩切	県道	四輪対自転車	-	大貨	自転車	◎
2	7	6	20	5	金	昼	晴	仙台市宮城野区原町	国道	四輪対自転車	-	大貨	自転車	◎
3	7	8	5	9	火	昼	晴	仙台市若林区荒井	市道	人对四輪	-	中貨	歩行者	◎
4	7	10	5	1	日	夜	曇	大河原町字中島町	県道	人对四輪	-	大貨	歩行者	-

2 発生推移 (基礎データ平成28年～令和7年)

発生件数は緩やかな減少傾向となっており、令和7年は、記録の残る昭和46年以降最少となり、ピーク時（平成16年の564件）の約2割（20.7%）まで減少しました。

死者数については、平成27年以降は一桁台で増減を繰り返し、令和7年は3人（前年比-1人）でした。



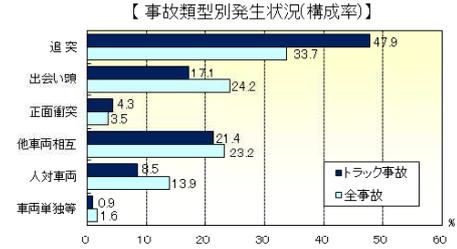
区分	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
死者数	6	4	4	3	5	5	1	5	5	4
発生件数	223	213	201	181	171	178	156	129	119	117
営業トラック台数	23,185	23,508	23,791	24,059	24,353	24,410	24,146	24,030	23,985	-
100台当たりの件数	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	-

※営業トラック台数：東北運輸局資料

3 営業トラック事故の発生傾向等 (令和7年中)

(1) 追突事故が多い

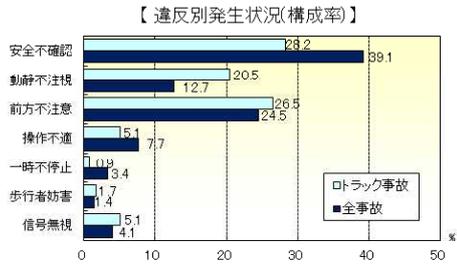
事故類型別では、追突事故の発生が多く、約5割(117件中56件、47.9%)を占めており、全事故の構成率(3,730件中1,256件、33.7%)より14.2ポイント高くなりました。



(2) 安全不確認による事故が多い

違反別では、安全不確認による事故が最も多く(117件中33件、28.2%)、次いで前方不注意による事故(31件、26.5%)が多くなりました。

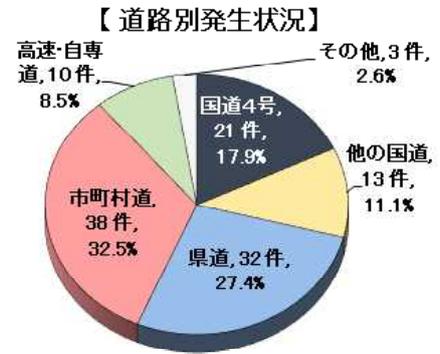
また、全事故と比較すると、動静不注視の構成率(20.5%)が、全事故(12.7%)より7.8ポイント高くなりました。



(3) 市町村道での発生が多い

道路別では、市町村道での発生が3割以上(117件中38件、32.5%)で最も多く、次いで県道が32件(27.4%)でした。

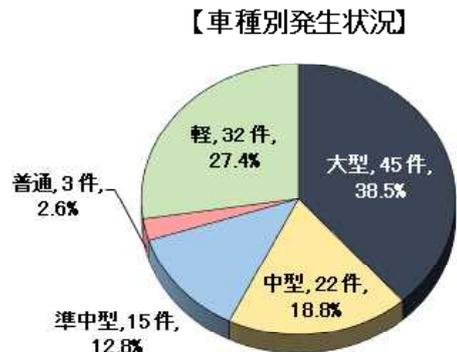
また、国道のうち、国道4号での発生は21件で、前年比-9件と減少しました。



(4) 大型車の事故が多い

第1当事者の車種別では、大型車が約4割(117件中45件、38.5%)を占めて最も多くなりました。

前年と比較すると、大型車は+3件、中型車は±0件、準中型車は+1件、普通車が±0件、そして軽自動車が-6件となりました。



(5) 昼の発生が多い

時間別では、9時台の発生が14件で最も多く、昼夜別では約8割(117件中88件、75.2%)が昼に発生しました。

また、曜日別では、木曜日が29件(24.8%)と突出して多く、日曜日は9件と少なくなりました。

